

第2回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会 会議録

日時

平成29年10月17日（火）午前10時58分～午後11時45分

場所

碧南市役所5階 教育委員会室

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 碧南高等学校長 坪井基紀、
碧南市主任児童委員代表 鈴木政枝、
西端小学校長 岩井伸江、新川中学校長 角谷竹虎、
学校教育課長 川隅義孝
- (2) 欠席者 南中学校PTAの女性代表 磯貝文香
- (3) 事務局職員 教育長 生田弘幸、教育部長 奥谷直人、
庶務課長 石川素子、庶務課係長 鈴木好美、
庶務課技師 鈴木康寛、庶務課主事 岩田晃宏

傍聴者 0人

会議内容

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 平成29年度まなびさぽーと中学生の認定について
 - (2) 平成29年度まなびさぽーと中学生の表彰式について
- 5 その他
- 6 閉会

議事の要旨

- 1 開会
開会を宣言。
- 2 教育長あいさつ
(教育長のあいさつ。)

3 会長あいさつ

(会長のあいさつ。)

4 議題

(1) 平成29年度まなびさぽーと中学生の認定について

事務局から資料1により募集要領の説明。

選考委員長から選考方法、選考理由及び応募状況等の報告。

<意見・質疑>

会長：ただいま、募集要項、選考方法等説明いただきました。どんな点からでも結構です。ご意見ご質問等ありますでしょうか。

会長：まず、私自らよろしいでしょうか。昨年優秀賞だった新川中学校のグループですが、最優秀賞にはあと一步足らず、もう1人、新川中学校の子も昨年準優秀賞であったのですが、優秀賞、最優秀賞には届かなかったのが残念です。昨年、努力賞、きらり賞だった子達が優秀賞、最優秀賞を取れたらよかったです。

事務局：努力賞、きらり賞は着眼点が良いのですが、少し研究の方法に稚拙な部分があったり、研究が浅かったりするものですから、もう少しアドバイスがあるとよかったですかもしれません。

会長：新川中学校はたくさんの応募がありましたが、なにか意見ありますでしょうか。

委員：この新川中学校の2点のように、昨年度調べて課題をもう一度追求する、橋を調べ今度は風車を調べてみようとする意欲の持続が学校にとってありがたいなと思っています。また、選ばれなかった子達も一生懸命やっており、受賞した子達の調べ方や着眼点をお手本にしたり、教員からのアドバイスで、もう少し深く調べてみようというふうに興味が広がっていくといいなと思っています。調べ方を変えると良くなると思う作品もあり、理科の授業や文化祭で入賞作品の発表があるので、その機会に全校生徒へ投げかけていきたいと思っています。

会長：ありがとうございます。それでは、またご自由にご発言ください。

委員：最優秀賞の生徒ですが、大道芸と結び繋げているところが良いと思います。なかなか、素晴らしい作品だと思います。全校的に生徒が参加しているようなので、先生の指導も大変だと思います。いろいろな子達がいるので、先生には負担になりすぎないようにやれると良いかと思っています。また、保護者の方からも大変だという意見を聞きます。

会 長：今、少し中学校の指導について言及されました。そのあたり、新川中学校ではどうなのでしょうか。

委 員：作品提出については、強制していません。生徒によって取り組み方に差があり、理科的な視点や知識、発想力のある子や仲間と合同研究をする子もいます。理科の教員も部活や学校行事、夏休みの他の課題などで時間が限られている中で、全員をサポートすることは難しいので、意欲が強い子達と進めていくことが多くなるのが現状です。

会 長：ありがとうございます。先ほど保護者の方が大変だという意見がありましたがいかがでしょうか。

委 員：自分の子供が中学生の頃に、こういった課題があることは知っていましたが、実際ここまですごいものだと知らなかったです。まず、子供たちの中では、1人でやるのは難しいので、誰とグループを組むかということになるようです。何をやるのか尋ねるとわからないと答え、とにかく宿題として出せばいいという感覚でいるように感じました。上位3位の作品を見ると家族のサポートがないと、難しいのではと思いました。意欲のある子はテーマも自分で決め追究を深め、とことん進んでいくようなので、やり始めると面白いものなのだと感じました。子供たちはテーマをどのようにして決めているのか気になりました。

委 員：本校と他の学校も同様だと思いますが、主に理科の授業でチラシを配り、過去の作品を見たり、先輩のことを話したりして進めています。テーマを決めるのは、夏休みに入る頃では遅いので、理科の授業で助走をつけてあげるため、教員がアドバイスしています。

会 長：ありがとうございます。他にありますかでしょうか。

委 員：こうやってたくさんの応募があり、上位3位を選ぶのは大変だと思います。最優秀賞、優秀賞、準優秀賞と決めていった中で、選考委員の中ではどのような意見が出ていたのかお聞きしたいです。

事務局：まず、各学校から挙がってきた26点の中で、最優秀賞の作品は群を抜いていました。その他の作品については、ここまで選ばれてくる作品は、どれもテーマなど全て自分のものを持っていますので、それに対して、どうアプローチをして実験を進められたか、さらに別の課題が出てきたときにどこまで追究できたかによって評価しました。

委員：こういったすばらしい研究ですが、以前は各校持ち回りで発表をしていましたが、今はどのようにされているのですか。

事務局：全ての中学校で、上位3位に入った自校の作品は、文化祭でパワーポイントを用いて発表しています。きりり賞、努力賞については掲示している学校もあるようです。

委員：スポーツについてはよく賞賛される場があるが、文化的なものは少ないように感じますので、発表の場があるのは良いですね。

委員：文化祭での発表は相応しいですね。

会長：発表の機会があるのは、生徒にとって励みになると思います。では、意見も出揃ったと思います。たくさんのご意見ありがとうございました。これによりまなびさぼーと中学生認定者を決定したいと思います。

委員全員：＜異議なし＞

審議の結果、承認された。

(2) 平成29年度まなびさぼーと中学生の表彰式について

事務局から資料2により説明。

＜意見・質疑なし＞

審議の結果、承認された。

8 その他

9 閉会

閉会を宣言。